

Nishiaizu

広報にしあいづ

平成
31年
1月号

January. 2019 No.723



皆さんにとって亥〜いちねんになりますよう、お猪りしていま^いち

もくじ — Contents —

新春特集 新年の抱負 年男・年女インタビュー P4~

P 2 新年のごあいさつ

P 6 まちの話題

子どもの主張大会、税の作文・習字で入賞、こゆりこども園発表会 ほか

P 8 町からのお知らせ&ニュース

自治功労者表彰式、12月町議会定例会報告、田崎敬修さん瑞宝双光章
受賞、西会津応援大使を委嘱、ほか





西会津町議会議長 武藤道廣

明けまして、おめでとうございます。
町民の皆様には、希望に満ちた輝かしい新春を迎えられましたこと、心からお慶び申し上げます。
また、日頃から、私ども議会に對しまして、何かとご高配とご指導を賜り、心より敬意と感謝を申し上げます。

築、議員定数減など、議会の活性化と改革を行ってまいりました。
議員定数については、昨年の12月議会定例会において、次期改選期から2名減とするため町議会議員定数条例を改正し、併せて議会本来の権能を失うことなく効率的で機能的な議会運営を行うため、組織の見直しを行いました。
議員定数が減れば、皆様の声を町政に反映しにくくなるため、改選後から広報広聴常任委員会を設置することと



西会津町長 薄友喜

新年あけましておめでとうございます。
輝かしい平成31年の新春を、町民の皆様とともに迎えることができましたことを心よりお慶び申し上げます。
平成29年8月に町長に就任して以来、町民の皆様との公約実現のために全力で取り組んでまいりました。おかげさまで昨年4月に保育料の無償化、6月には「なつかしカーショー」の復活開催、10月から定時定路線バスの運行開始などについて実現することが

できました。今年も、心新たに、公約実現に向け最大限努力をしてまいります。
今、本町の最大の課題は「人口減少問題」であります。この課題解決の指針となる第4次（平成31年度～37年度）の西会津町総合計画を策定中であります。その将来像を「笑顔つながり 夢ふくらむまち ぐずーっと、西会津」と定め、喫緊の課題解決のために次の4つの分野からまちづくりを進めてまいります。

1 健やかな人をともに育むまちづくり

地域ぐるみでの子育てに取り組む、安心して子どもを生育てられる環境づくりを進めるとともに、子どもたちに学びを通して未来を生き抜く力を育ててまいります。また、生涯を通じて学習に取り組む、日常生活の中でスポーツ、芸術・文化に親しむ機会を持ち、健康な心と身体を育む町を目指します。急激な情報化の中で、本年はプログラミング的思考教育を産官学民との連携により、特に会津大学との関係を強化し、ICTを活用した教育環境を充実してまいります。また、昨年、文科科学大臣表彰を受けた「地域学校協働活動事業」をさらに推進してまいります。

2 温故創新 地産地笑のまちづくり

先人が紡ぎ守ってきた歴史や伝統、技、生活の営み、豊かな自然などを大切にしながら

ら、新たな考え方や手法と融合させた「新しい価値」の創出に取り組みます。生み出された新しい価値や技術を農林業、商工業、観光などに取り入れながら、地場産業の振興と後継者育成を進め、「人・物・金」が上手に循環する活気に満ちた笑顔の絶えない町を目指します。新たなステージの健康な土づくり事業、園芸および菌床栽培用ハウス整備を推進し、ブランド化を図ってまいります。町の農業を守るため、集落型ライスセンター整備に向けての準備、そして、有害鳥獣被害に対して最大限の対策を講じてまいります。

3 いきいき健康 ころつながるまちづくり

自分の健康は自分で守る意識の下、町民と行政が丸くなって健康寿命延伸に取り組む、健やかに暮らせるまちづくりを進めます。また、地域の支え合いの中で、その人らしく生きがいをもって生活で

4 誰もがこころよく暮らせるまちづくり

町民と行政が一体となり、雪を克服し、災害などに強いまちづくりを進めます。また、ICTの活用や、交通体系の整備により、快適で便利な「ずっと住み続けたい町」を目指します。除排雪の充実、公共交通の整備、道路網の整備にICTの活用などを推進してまいります。

本年も皆様にとつて、健康で幸多い年となりますようご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。

【議会活動の新たな展開】

さて、町は、人口減少問題や少子高齢化など様々な行政課題に対する施策を鋭意進めております。
町議会は、それらの施策をチェックする機関としての責務を果たすため、議論を重ね速やかに対応してきたところがあります。

また、私ども議会は、一昨年の12月に政策提言調査特別委員会を設置し、本町の基幹

【明るく未来に向け】

農業振興施策も含め、まちづくりは、時代の潮流とともに斬新な発想を必要としており、旧来の感覚では未来を切り拓いていくことはできないと考えます。議会といたしましても、人口減少・少子高齢化など、本町における多くの課題に対し正面から向き合い、研鑽を重ね、いろいろな形で町政に反映してまいります。

町民の皆様には、積極的な議会活動への参加を賜り、生の声をお聞かせいただくとともに、一緒になって明るく未



来に向けたまちづくりをしていきたいと思えます。

【協働のまちづくり】

私ども議会は、この新しい年にあたり、町民の皆様と議会、町と議会の絆をしっかりと感じながら、西会津町を誇りとし、「西会津町に住んでいて良かった」と真に喜びを実感できるような、魅力あるまちづくりの実現に向けて今後も継続して努力し、町民の皆様への負託に応えるよう全力を尽くしてまいります。

本年も町議会に對し、特段のご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げますとともに、町民の皆様のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。



とみこ
須藤 富子さん
昭和34年生まれ 原

昨年は秋に父がけがをしましたが、それ以外は特に例年と変わりなく、平和な1年でした。しいて言えば、会津民謡全国大会の壮年の部で優勝し、総合で準優勝となったこと。何度か出場していますが、この大会での入賞は初めてでしたので、思い出に残る出来事となりました。今年で60歳になりますので、人生も半分以上を過ぎ、ひとつの節目を迎えます。昨年の父のけがで、両親に任せっぱなしだったことに気付いた部分もあります。農業もお手伝いという感覚でやっていたので、これからは細かい部分も覚えていかなければならないのかなと感じています。両親がしっかりしている今のうちに少しずつ引き継ぎ、地域にも貢献できるように考えていきたいと思っています。

穰さん 昨年、地域に増えつつある使われなくなった畑を危惧し、上野尻の有志で生産組合を立ち上げ、エゴマの栽培を始めました。今年を含め、3～5年で栽培範囲を広げ、昔のような緑あふれる畑となるよう大きく変えていければいいなと思っています。

和子さん 家族で何事もなく、健康に過ごせてよかったです。ずっと一緒に農業をしてきたので、夫を手助けしながら、好きな旅行にも行きたいと考えています。

2人 若いときには何も思わなかったけれど、年を重ねると「何事もなくてよかった」と思うようになりました。ありきたりな毎日かもしれませんが、今日、昨日と同じように過ごせたから、明日も今日と同じように過ごせたらいいねと、そんなことを話しています。



み の る か ず こ
二瓶 穰さん 和子さん
昭和22年生まれ、上野尻



まさと
杉本 昌登さん
昭和34年生まれ 向原

昨年は特に良いことも悪いこともなかった気がしますが、田んぼをやっているのが雨が降らなかったことが印象的でした。収量は落ちましたし、稲が暑さで焼けてしまったところもありました。まあ、自然相手なので仕方ありません。そういえば、3人目の孫が生まれました。これはとても良いことでした。

本業は大工なのですが、今年は米作りをもう少し一生懸命やってみたいと思っています。また、地元なのに昨年は全然行けなかった魚釣りにも出掛けたいと考えています。ルアーフィッシングもやってみたいですね。あと、そんなに遠くでなく、近場でもいいので、夫婦で旅行に行きたいと考えています。いろいろと夢は膨らみますが、健康で仕事ができれば一番です。

新年の 抱負



明けましておめでとうございます。平成31年となりました。皆さんは、今年
の目標をもう決めましたか？
今月号では、恒例の新春特集として、今
年の干支である「亥年生まれ」の皆さんに、
新年の抱負や夢を伺いました。
今年の目標をすでに決めている人にとっ
ても、これから考える人にとっても、新た
な一年が輝かしい年になりますよう心から
お祈り申し上げます。

久志さん ゴルフが趣味ですが、昨年の後半、ゴルフボールが足に当たってけがをしまいました。今年はリハビリを頑張って早くけがを治し、これまで以上にゴルフを楽しめたらいいなと考えています。

妙子さん 以前に手術をしてから長らく体調があまり良くなかったのですが、最近やっと周りからも「元気になったね」といわれるくらい回復しました。今年も健康に気を付け、かわいい孫たちの成長を楽しみしながら1年を過ごしていきたいと思っています。

淳一さん 平成19年の亥年に今の「幸寿し」を開き、早いもので店も干支を一回りしました。今年も町の人に愛される寿司屋を目指し、一人でも多くの町民の皆さんに味わってもらえたらいいなと考えています。



ひ さ し た い こ じ ゅんいち
大槻 久志さん 妙子さん 淳一さん
昭和22年生まれ、昭和46年生まれ 7町内



き し じ ゆ う き
齋藤 鬼子次さん 裕樹さん
昭和10年生まれ、平成19年生まれ 尾登

鬼子次さん 週に2回、デイケアに通っています。デイケアでは、仲間と話をしているとあっという間に時間が過ぎてしまいます。楽しい時間ですね。デイケアがあるから、ここまで生きられたんじゃないかなとも思っています。今は、孫たちの成長が一番の楽しみで、一人前になるまで見守れたらいいなと考えています。

裕樹さん スポーツ少年団でサッカーをやっています。ポジションはフォワードで、ゴールを決めたときが一番楽しいです。去年は1試合に6点決めた試合もあったので、今年もそれ以上にゴールを決められるよう頑張りたいです。また、去年は陸上の100mで県大会に出場しました。とてもいい経験になったので、今年も出られるといいなと思っています。



練習の成果をみんなで披露 こゆりこども園で発表会

12月1日にこゆりこども園で「はっぴょうかい」が開かれました。ひまわり組の歌・合奏「地球はみんなのものなんだ」を皮切りに、ちゅうりっぷ組、ゆり組、たんぼぼ組の園児らが日頃の練習の成果を存分に発揮し、歌や遊戯などを堂々と披露しました。会場には大勢の保護者が訪れ、元気いっぱい歌や遊戯を発表する園児らに惜しみない拍手を送りました。



うつ病は風邪をひく人より多い こころの健康講演会を開催

12月8日、町では「こころの健康講演会」を開催しました。竹田総合病院・こころの医療センターの小藪江浩一センター長が講師を務め、自殺予防のためにはうつ病の早期発見と適切な治療が重要であること、また、うつ病の人は約8人に1人いて風邪をひく人より多いことなどを分かりやすく解説しました。訪れた皆さんは、熱心に先生の講演に耳を傾けました。



開局記念イベントを道の駅にしあいづで開催 ラジオ福島ワイドFM 中継局が開局

ラジオ福島のFM補完中継局全局が12月1日に開局し、道の駅にしあいづで記念イベントが開かれ、公開生放送と福島ゆかりのアーティストによるライブが行われました。公開生放送には工藤倫也副町長と、にしあいづ観光クルーの齋藤貴子さん、榎本梨奈さんが出演し、西会津町をアピールしました。ラジオ福島のFM放送は90.8MHzヘルツで聞くことができます。



西高魅力発信隊の活動や今後の展望など 西高生が西中生に向けて発表

12月6日、西会津中学校で開催されたアントレプレナーシップ学習の発表会に西高魅力発信隊の生徒が特別参加し、西会津中2年生に向けて、これまで取り組んできた地域活性化活動の概要や今後の展望などを発表しました。西高魅力発信隊が西会津中で発表を行うのは本年度2回目。西高生にとっても、これまでの取り組みを振り返る良い機会となったようです。

第27回子どもの主張大会 夢や思いを堂々と発表

12月15日に町公民館で「こどもの主張大会」が開催されました。今年のテーマは「将来の夢」「なりたい職業」で、小学生から高校生まで、12人の児童・生徒の皆さんが、夢に向かって頑張っていることや、その面白さ、夢を抱くようになったきっかけなど、さまざまな思いを自分たちの言葉で来場者に向けて発表しました。発表の後には、町地域おこし協力隊の江田睦美隊員が、自身の体験をもとに発表者の皆さんを激励し、西会津小の岡崎秀明校長が「人の役に立ちたいという思いはとても素晴らしい。家族や周りの人たち、そして地域のために頑張ってください」と講評を述べました。訪れた皆さんは、児童・生徒らの堂々とした発表に熱心に耳を傾けていました。

緊張のトップバッターを務めた折笠遥南さん（西会津小6年）



終了後の記念撮影



発表者の皆さん

西会津中で行った表彰式での記念撮影



特別賞の秋田莉奈さん(左)と習字(中央上)



賞状を受け取る伊藤大河さん

みんなの税の広場 税の作文・習字で入賞

「中学生の税についての作文」で西会津中の伊藤大河さんが喜多方税務署長賞を受賞し、水野美知さんが西会津町納税貯蓄組合連合会長賞を受賞しました。また、「小学生の税に関する習字」で西会津小の秋田莉奈さんが特別賞の喜多方地区税務関係団体連絡協議会長賞を受賞しました。伊藤さんと秋田さんの表彰は11月16日に喜多方市で開かれた「みんなの税の広場作品表彰式」で行われ、水野さんは11月19日に西会津中で安部一壽町納税貯蓄組合連合会長から賞状を受け取りました。

皆さんの作品は、11月10日から18日まで、ヨークベニマル喜多方店の特設会場で展示されました。



平成30年度 表彰者・感謝状贈呈者 [敬称略]

自治功労者表彰

■特別功労表彰 [町政の向上発展に貢献]

町選挙管理委員会委員として、4期16年の長きにわたり公正かつ適正な選挙の執行に貢献。平成11年9月からの1期4年間は委員長職務代理者、平成15年9月からの3期12年は委員長を務めた。平成29年秋の叙勲で旭日単光章を受章。

◎選挙管理委員会委員の期間 [4期16年]

平成11年9月29日～平成27年9月28日

◎委員長を務めた期間 [3期12年]

平成15年9月29日～平成27年9月28日



前町選挙管理委員会委員長
薄上 幸一



元町消防団第二分団長
長谷川 恵一

■特別功労表彰 [町政の向上発展に貢献]

町消防団員として、36年の長きにわたり消防人として活躍。平成6年7月からは分団長を務め、団員の指導に励むとともに近代的な消防技術の向上に尽力し、組織強化に貢献。平成29年秋の叙勲で瑞宝単光章を受章。



◎消防団在職期間 [36年2カ月]

昭和35年5月2日～平成8年6月30日

◎分団長を務めた期間 [2年]

平成6年7月1日～平成8年6月30日

■功労表彰 [教育、文化、学術、スポーツ等の興隆に貢献]

剣道場・錬心館館長 故山 本 隆 夫

■善行表彰 [町政の向上発展に貢献]

高目自治区 西 田 晴 雄

感謝状贈呈

■自治区長永年勤続者

堀越自治区長
中野自治区長
柴崎自治区長
橋立自治区長
道目自治区長
中町自治区長
宮野自治区長

[5年勤続]

齋 藤 俊 二
長谷川 正 美
佐 藤 清 治
佐 藤 健 一
井 上 國 男
岩 橋 義 平
五十嵐 政 夫

■納税貯蓄組合長永年勤続者 [20年勤続]

屋敷納税貯蓄組合長 藤 原 禮 昭

■納税貯蓄組合長永年勤続者 [10年勤続]

縄沢大畑納税貯蓄組合長 青 津 照 雄
弥栄納税貯蓄組合長 星 敦 志

自治功労者表彰式・自治区長大会・納税貯蓄組合長大会 長年にわたる功績たたえ表彰

町では、11月21日に本年度の自治功労者表彰式・自治区長大会・納税貯蓄組合長大会を町公民館で開催しました。長年にわたり町政の向上発展に尽くされた14人の皆さんに薄町長が表彰状や感謝状を贈り、その功績をたたえました。



▲20年勤続の感謝状を受け取る屋敷納税貯蓄組合長の藤原さん



▲表彰者・感謝状贈呈者の皆さん



▲功労表彰を受け取る故・山本隆夫さんの子・裕司さん



▲善行表彰を受け取る西田晴雄さん

式では、薄町長が「長年にわたるご功績とご労苦に、町民を代表して衷心より敬意と感謝の意を表します」と式辞を述べた後、青木照夫町議会副議長が町議会を代表してあいさつしました。

続いて行われた表彰では、出席した受賞者の皆さんに薄町長が表彰状や感謝状を贈り、その長年の功績をたたえました。

式の最後には、特別功労表彰を受賞した薄上幸一さんが「特別功労表彰の受賞は、家族や関係者をはじめ、支えてくれた皆さんのご指導と励ましの賜物。今後、この受賞を励みに、微力ながら町の発展に尽くしていきたい」と受



▲第2部で講演した鶴谷先生

賞者を代表して謝辞を述べました。

式の後には、第2部の講演が開かれ、県立医科大学津医療センター附属病院副院長で会津医療センター循環器内科学講座教授の鶴谷善夫先生が「家庭血圧計による血圧管理方法について」と題して家庭での血圧測定の重要性を熱弁しました。身近な血圧の話とあって、聴講した皆さんは興味深そうに聞き入っていました。



議案20件を審議、可決 12月町議会定例会報告

12月7日から13日までを会期に開かれた平成30年第7回町議会定例会では、条例の一部改正や平成30年度補正予算など、町政が当面する重要な議案20件が審議され、全て原案のとおり可決されました。町政の主要事項報告の内容および可決された議案は次のとおりです。



町政の主要事項 報告から

町総合計画の策定

平成31年度を初年度とする次期総合計画は、平成30年1

月に策定作業を開始して以来、町民の皆さん30人による「総合計画検討会議」と、町職員25人による「総合計画策定プロジェクトチーム」が連携して検討作業を進めてきました。基本構想および前期基本計画からなる総合計画・公表案については、まちづくり基本条例に基づき、11月13日

から12月3日まで意見公募を行い、さらに11月21日からは町内5地区で町民懇談会を開催し、町民の皆さんから貴重な意見をいただきました。今後も広く町民の皆さんの意見をお聞きしながら、計画

案の議会上程に向け作業を進めていきます。

若者向け住宅整備事業

若年層の移住・定住の促進を図るための「若者向け住宅整備」については、9月定例会で旧野沢保育所敷地を整備用地とするため既存建物の解体撤去に係る補正予算を議決いただき、その後、町で10月と11月に4町内と5町内の皆さんを対象とした説明会を開催したほか、敷地に隣接する住民の皆さんとの意見交換会を開催し、事業への協力をお願いしました。住民の皆さんからは、事業を進めるにあたって心配な点や不安な点などのご意見もありましたが、

そうした部分への対応についても一つ一つ説明し、ご理解をいただいたところです。

今後は、来年度の住宅整備に向け、可能な限り住民の皆さんの意見を反映しながら作業を進めていきたいと考えています。

渇水対策の状況

平成30年夏の少雨・渇水等による農作物等への被害を防止するために、各生産者が取り組んだ揚水等にかかった経費に対する支援事業については、個人農家から70件、14万7000円、水・土・里環境委員会に水利組合などの団体から7件、50万1000円の申請があり、全件の交付決定を10月12日までに完了したことから、同日付けで「対策本部」を解散しました。

水稲の作況と 利子補給事業

本町の会津よつば農協への米の出荷状況を見ると、一等米比率は10月22日現在で98.6割となっておりますが、集荷

率は当初契約数量に対して8割程度と例年を大きく下回っており、夏の少雨・渇水等による未熟米の増加によるものと考えられます。当初予定していた数量を出荷できない農家には、生産資材等の経費を精算するために金融機関からの借入れが必要な生産者もいることから、県と会津よつば農協では本年の高温・少雨等に係る災害資金を創設しました。町としては、農業経営の維持安定を図るための緊急的な支援として、これら融資資金の低利化を図る「利子補給事業」を実施することとなりました。

今冬の除排雪対策の拡充

昨年度は6人体制で19世帯の支援を行っていた雪処理支援隊は、支援対象世帯が平成30年度の調査で30世帯となる見込みであることから、3人増員の9人体制で支援を行います。冬期間の安心を確保していきます。また、平成29年度までは豪雪対策本部が設置された年に限り実（く次頁上へ）

施していた除排雪費用助成事業については、平成30年度から豪雪対策本部の設置の有無にかかわらず助成を実施することとしました。対象世帯は、75歳以上の高齢者世帯や障がい者世帯等で、自力での除排雪が困難な非課税世帯です。助成額は年間1万円で、申請により給付券を交付します。

また、除排雪を行う事業者については、町内の事業所や個人事業主等を募集し、登録していただきました。

このほか、本事業の対象世帯以外から「除排雪を依頼できる事業者を紹介してほしい」という声があったことから、登録事業者の中で公表を希望した事業者を町広報紙やホームページ、雪の相談窓口を通じて周知を図っていきます。

ふるさと応援寄付金事業

本事業は、平成30年6月からインターネットサイト「ふるさとチョイス」を利用した取り組みを開始し、11月25日現在、132件、173万4000円の寄付をいただい

おり、平成29年度と比較すると87件、47万3000円の増となっております。返礼品は、食味値が85点以上の西会津げんき米を「西会津げんき米ブレミアム」として付加価値を高めるなど、新米を中心に4品目に増やしました。また、パンフレットも一新し、在京西会津会の会員へのダイレクタメール送付なども行っています。今後もインターネットでの広告掲載や観光施設へのパンフレット配置などを行いながら、広く寄付を募っていきたく考えています。

青少年赤十字福島県指導者 研修会・学校公開

西会津小・中学校では、平成29年度、30年度の2年間、青少年赤十字研究推進校の指定を受け、「気づき、考え、実行する児童・生徒の育成」を研究主題とし、その実践に取り組んできました。平成30年10月19日に西会津小・中学校で開催された研修会・学校公開には、県内各地から約250人が集まり、小学校で



は公開授業を行い、中学校では地域学習と町内でのボランティア活動の取り組みの成果を発表しました。参加した皆さんより、授業内容やボランティア活動の取り組みに関して高い評価をいただいたことから、町では今後も地域と学校が連携を深めるさまざまな活動に取り組んでいきます。

可決された議案

- ◆町長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正、議会の議員の議員報酬及び費用弁償条例の一部改正
- ◆人事委員会の勧告および県人事委員会の勧告
- ◆職員給与の平均0.12割引き上げるとともに勤勉手当の支給月数を0.05月分引き上げるなどの改正
- ◆職員の給与に関する条例の一部改正
- ◆人事委員会の勧告および県人事委員会の勧告
- ◆職員給与の平均0.12割引き上げるとともに勤勉手当の支給月数を0.05月分引き上げるなどの改正
- ◆町税条例の一部改正
- ◆地方税法の改正に伴う町民税の非課税の範囲等に係る条例改正
- ◆平成30年度一般会計補正予算（第4次）
- ◆燃料費や修繕費の増加に伴う指定管理委託料の増額や介護給付費の増加見込みによる介護保険特別会計繰出金の増額など、3085万1000円の増額
- ◆平成30年度特別会計補正予算
- ◆公社造林契約の一部変更
- ◆本町財産区の廃止に伴い、取得した公社造林の収益分配割合を変更
- ◆教育委員会教育長の任命への同意
- ◆江添信城さんを任命（再任）
- ◆農業委員会委員の選任への同意
- ◆岩原稔さん（7町内）を選任
- ◆福島県市町村総合事務組合規約の変更
- ◆地方自治法の改正に伴い、同組合の監査委員の選任方法等について規約を一部変更
- ◆町議会議員定数条例の一部改正
- ◆町議会議員の定数を14人から12人に改正
- ◆議会議案の提出要件を変更
- ◆議会議案の提出要件を変更



本町の魅力を広く発信し、さまざまな情報を収集

「西会津応援大使」を町外に住む5人に委嘱



▲写真後列左から田崎さん、佐原さん、新田さん、前列左から安藤さん、薄町長（齋藤さんは欠席）

町では、町の豊かな自然や歴史、文化、芸術、観光等の情報を広く発信するとともに、町のイメージ向上と観光の活性化を図り、また、企業誘致に関する情報を得るため、11月16日、町にゆかりのある町外在住者5人を「西会津応援大使」に委嘱しました。

◆西会津応援大使

- 新田 興 助さん（神奈川県横浜市鶴見区）
- 齋藤 平 二さん（東京都江東区）
- 田崎 公 司さん（兵庫県尼崎市）
- 安藤 壽美子さん（東京都世田谷区）
- 佐原 勇^{たけし}さん（東京都新宿区）

<問い合わせ先>

商工観光課・商工観光係 ☎ 45-2213

交通安全教育活動、広報活動などに従事

交通教育専門員に新澤光男さん



町では、交通安全教育活動、広報活動などを行う交通教育専門員に新澤光男さんを再任しました。12月3日に町役場で行った辞令交付式では、薄町長が「街頭啓発は暑い日も、寒い日も、雪の日もあり、大変な職務。健康に留意し、事故のない明るい社会をつくるため、ご協力をお願いします」と訓示を述べました。新澤さんの任期は平成30年12月1日から3年間です。

今年も雪処理支援隊を設置

自力での雪処理が困難な家庭を支援



町では、自力での除雪が困難で、家族や集落からの支援も難しい高齢者世帯などを支援するため、今冬も雪処理支援隊を設置しました。12月3日に町役場で行った辞令交付式では、薄町長が隊員に辞令書を手渡し、「町民の皆さんの目線に立った作業を心掛け、体調は万全に、事故のないよう活動をお願いします」とあいさつしました。雪処理支援隊は、今年の3月末まで対象者宅を見守りながら、除排雪の支援を行います。写真＝前列左から矢部丈夫さん、平野真さん、渡部秀満さん、後列左から横山範之さん、佐藤誠一さん、齋藤英行さん、五十嵐勝彦さん

秋の叙勲の受章を薄町長に報告

田崎敬修さんが瑞宝双光章を受章

平成30年の秋の叙勲で瑞宝双光章を受章した田崎敬修さんが11月20日に町役場を訪れ、薄友喜町長に受章を報告しました。薄町長は受賞を祝福し、田崎さんは伝達式や伝達式後の皇居御参内の様子などを話しました。田崎さんは、昭和47年に県教諭となって以来38年間、教師として子どもたちの自立心や主体性を養う教育に力を注ぎ、旧尾野野小や喜多方一小などの校長を歴任しました。そうした功績が認められ、このたびの受章となりました。田崎さんは現在、西会津町観光ガイドの会の会長を務めるほか、子どもたちに地元の歴史や勉強などを教える活動も行っています。



長年にわたる保護司の活動が評価

佐藤洋子さん、矢部幸彦さんが法務大臣表彰受賞

11月27日、保護司の佐藤洋子さん（写真中央）と矢部幸彦さん（写真右）が町役場を訪れ、法務大臣表彰の受賞を薄町長に報告しました。薄町長は受賞を祝福するとともに、「ここからをまた新たなスタートとして、ぜひ今後も更生保護活動にお力添えをお願いします」と協力を求めました。

法務大臣表彰は、佐藤さん、矢部さんのそれぞれ20年以上にわたる更生保護活動と犯罪予防に尽くした功績が評価されたもので、2人は「受賞を励みにこれからも保護司として社会に尽くしていきたい」と話しました。



宝くじの社会貢献広報事業

コミュニティ助成事業で防災備品を整備

中野区自主防災会では、本年度に一般財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業により、発電機やチェーンソーなどの防災備品の整備を行いました。

コミュニティ助成事業は、地域社会の発展と住民福祉の向上などを目的に「宝くじの社会貢献広報事業」として宝くじの受託事業収入を財源に実施されています。



お知らせ

INFOMATION

ケーブルテレビ さゆりチャンネル 1月の放送案内

- ◆放送予定
- ◎新番組「正しいラジオ体操」

◎睡会 昭和63年樽神輿運行の映像

※詳しい放送日程は、にしあ いづニュースワイドなどでお知らせします

〈問い合わせ先〉

(二社)西会津ケーブルネット
☎45-4461



農業災害資金の利子を補助

町では、今夏の高温・少雨等により農作物に被害を受けた農家を対象とした農業災害資金の利子を補助します。詳しくは問い合わせください。

◆補助対象者
県の「農業経営安定資金」またはJA会津よつばの「平成30年水稲災害資金」の融資を受けた人の融資を受けた人



◆補助率等
年利0.5割以内分を、融資を受けた日から5年以内の期間補助します。

◆融資申し込みの取扱期間
県の「農業経営安定資金」

◎県の「農業経営安定資金」
平成31年3月8日まで

◎JA会津よつばの「平成30年水稲災害資金」
平成31年2月28日まで

〈問い合わせ先〉

農林振興課 農政係
☎45-4531

医療従事者の皆さんは届け出を忘れずに

医師、歯科医師、薬剤師、看護師、歯科衛生士などの皆さんには、医師法等関係法律により2年に一度、住所や従事先等を記載した届出票の提出が義務付けられています。該当する人は平成30年12月31日現在の状況を保健所に届け出てください。



◆届出対象者

- ①日本に在住し、日本の国籍、歯科医籍、薬剤師名簿に登録されている全ての医師、歯科医師、薬剤師(従事していない人も含む)

- ◎届け出先 住所地または就業地を管轄する保健所
- ◎県内で就業している保健師、助産師、看護師、准看護師、歯科衛生士、歯科技工士
- ◎届け出先 就業地を管轄する保健所

有料広告を募集

広報にしあいづに掲載する有料広告を募集中です。

◆規格

- ◎半枠 縦4センチ×横8.5センチ
- ◎全枠 縦4センチ×横17.5センチ

◆広告掲載料(1カ月)

- ◎町内企業・団体・個人 半枠 5,000円 全枠 10,000円
- ◎町外企業・団体・個人 半枠 7,500円 全枠 15,000円

〈問い合わせ先〉

企画情報課 情報政策係
☎45-4536

スタインウェイを弾いてみよう

ピアノの最高峰である「スタインウェイ」フルコンソールトランドピアノを喜多方ラザ大ホールで演奏体験できる企画です。



◆保健所への提出期限

平成31年1月15日(火)

〈問い合わせ先〉

- ◎会津保健所
☎0242-29-5506
- ◎県庁保健福祉総務課
☎024-521-7217
- ◎県庁医療人材対策室
☎024-521-7222

B型肝炎訴訟 無料電話相談会

B型肝炎被害対策東北弁護士団が、B型肝炎訴訟について弁護士による無料電話相談を行います。

◆日時

1月21日(月)
午前10時～午後7時

◆対象

B型肝炎患者またはその家族(患者が亡くなっている場合は、その相続人)

◆電話相談先

☎022-721-1091
☎022-721-1092

※通話料はかかります。

〈問い合わせ先〉

B型肝炎訴訟東北弁護士事務所(小野寺友宏法律事務所)
☎0120-76-0152

東北6県からの入学生を支援 愛知大学 本間喜一奨学金

山形県川西町は、愛知大学創設者の本間喜一氏が同町出身の縁から同大と連携・協力の協定を締結しています。川西町では、多額の寄付を受けたことから、本間喜一氏の同大創設時の思いである「地域貢献者の育成」を目的に次の奨学金制度を設け、志のある学生を支援します。

◆対象者

東北6県からの入学生

◆対象学部

愛知大学地域政策学部
地域政策学科(豊橋校舎)

◆支給額

総額300万円(年額75万円、4年間継続支給)

◆奨学生数

3名以内(書類審査、面接)

◆給付時期

2019年4月～5月に奨学生を募集し、面接等を経て選考の上、同年8月ごろに支給予定

◆給付条件

愛知大学在学中、3年生終了時まで山形県川西町にてインターシップを2回実施すること(各5日間)

〈問い合わせ先〉

◎山形県川西町まちづくり課
☎0238-42-6613

◎愛知大学企画部入試課
☎052-937-8112

受付時間 平日の午前9時～午後5時

なりすまし 詐欺に注意!!

県内でなりすまし詐欺被害が発生しています。不審な電話には応対せず、交番などに相談しましょう。

〈問い合わせ先〉

町民税務課 町民生活係
☎45-2215

コンサートさながらの舞台セット(音響反射板、舞台照明等)の中でスタインウェイの音を体験してみませんか。

◆日時

1月19日(土)
午前9時30分～

◆参加費

1000円 30分間(1区分)

◆参加資格

小学生以上のピアノ演奏経験者(中学生以下の参加者は保護者同伴)

〈問い合わせ先〉

喜多方プラザ文化センター
☎0241-24-4611

ご確認ください 防災タウンページ

日頃からの備えや災害時の行動のポイントを盛り込んだ「防災タウンページ福島県版」をNTTタウンページ(株)が発行します。

付録には「公衆電話+避難所マップ」が付いていますので、災害発生時のもとより、いざという時に備えて確認し

てみましょう。

防災タウンページは、タウンページと一緒に1月上旬から1月末にかけて全住戸、全事業所に届けられます。

〈問い合わせ先〉

タウンページセンター
☎0120-506309

受付時間 平日の午前9時～午後5時(土日曜・祝日・年末年始を除く)

1月10日は 110番の日

110番は、事件事故専用の緊急通報用電話番号です。110番通報は県内のどこからかけても福島市の警察本部通信司令室で集中受理します。事件事故の現場については、地元だけの俗称を使わず、具体的な説明をお願いします。

◆お尋ねする主な内容

- ◎何がありましたか
- ◎いつのことですか
- ◎場所はどこですか
- ◎犯人は誰ですか
- ◎犯人の逃走方向はどちらですか



110番は、事件事故専用の緊急通報用電話番号です。110番通報は県内のどこからかけても福島市の警察本部通信司令室で集中受理します。事件事故の現場については、地元だけの俗称を使わず、具体的な説明をお願いします。

すか

◎状況(ケガ・現場等)はどうですか

◎あなたの名前等は分らない時は?

◆現場の住所が分からない時は?

◎目の前にある建物、道路、橋、河川などの目標となるものの名前、近くに民家があればその住所を伝えてください

◎電柱(電力柱・NTT柱)の番号は場所の特定にとっても有効です

◆「#9110」をご存じですか?

急ぎではない警察への相談は、警察相談ダイヤル「#9110」(シャープ・きゅう・いち・いち・ぜろ)をご利用ください。専門の相談員が対応します(県内では福島県警察本部の相談窓口につながります)。

◎利用時間

平日の午前9時～午後5時(年末年始・祝日を除く)

〈落とし物等の問い合わせ先〉

喜多方警察署
☎0241-22-5111

外はカリカリ、中はモチモチ
れんこん餅あんかけ

今月の
オススメ



からだを温める食べ方

寒い季節になって、手先や足先が冷えますね。冷えは、外側からの対策も大切ですが、内側からの対策も重要です。体が温かいと、免疫が上がり、風邪などをひきにくくなります。今月号では、体を内側から温める料理を紹介します。

体を温める食べ物があれば、逆に体を冷やす食べ物もあります。体を冷やす食べ物を食べていけないということではなく、バランスが大切です。体が冷えているときには体を温める食べ物を意識して取りましょう。

◎**体を温める食べ物** 冬が旬のもの。野菜は土の中で育つもの（ニンジン、ゴボウ、大根、レンコン、シヨウガ）。色の濃いもの（玄米、紅茶、黒ゴマ、黒砂糖）

◎**体を冷やす食べ物** 夏が旬のもの。野菜は土の上で育つもの（キュウリ、トマト、ナス、レタス）。色の薄いもの（白米、緑茶、白ゴマ、白砂糖）

◎**鉄分** 血液のもとになる成分。鉄分不足になると貧血を起こしやすくなります。鉄分を多く含む食材 ①レバー、貝類、ひじき、大豆

◎**ビタミンB1** 糖質を分解する酵素の働きを助け、エネルギー源として燃焼させて体を温める働きがあります。ビタミンB1を多く含む食材 ①豚肉、うなぎ、のり、玄米、きな粉

◎**ビタミンE** 血液の流れをよくくして体を温めるほか、加齢による血管の老化を防ぐ働きをします。ビタミンEを多く含む食材 ①ナッツ類、植物油

***** 作りやすい分量(4人分) *****

- レンコン..... 500g
- ジャガイモ..... 100g
- 干しシイタケ..... 2枚
- 長ネギ、おろしシヨウガ..... 少々
- 鶏ひき肉..... 200g
- 下味
 - 酒..... 小さじ2
 - しょう油..... 小さじ2
 - 砂糖..... 小さじ1
- あん
 - だし..... 1カップ
 - みりん..... 大さじ1
 - しょう油..... 大さじ1
 - 水溶き片栗粉..... 大さじ3
- 小麦粉、揚げ油..... 適量

***** 作り方 *****

- ①レンコンとジャガイモは皮をむいてすりつぶす。
- ②干しシイタケは水で戻して5mm角に切る。長ネギはみじん切りにする。
- ③鍋に鶏ひき肉と下味の調味料を入れてよく混ぜる。
- ④鍋を火にかけて干しシイタケ、①を加え、粘りが出るまで力強く混ぜて火を通したらバットに広げて粗熱を取る。
- ⑤④を8等分に分けて丸め、小麦粉をまぶして180度の油で色よく揚げる。
- ⑥鍋にあんの材料のだし、みりん、しょう油を入れて沸騰させ、水溶き片栗粉でとろみを付けたら、みじん切りの長ネギを加える。
- ⑦⑤のれんこん餅を器に盛り、⑥をかけておろしシヨウガをのせれば完成です。

体を温める食べ物

体を温めるのに大切な栄養素

◎**タンパク質** タンパク質は血液や筋肉など体を作るために大切な栄養素で、保温には欠かせない成分です。タンパク質が不足すると酸素が運ばれにくくなり、酸素不足でエネルギーの燃焼がうまくできないので体が温まりません。タンパク質を多く含む食材 ①肉類、魚介類、卵、大豆（大豆製品）、牛乳（乳製品）

40歳以上の人必見！生活習慣を見直してみませんか？ 放っておかないで、血糖値！

皆さんは、健診結果で血糖値を気にしていますか。健診では血糖（空腹時または随時）とHbA1c（過去1〜2カ月間の血糖値の平均）、尿糖、尿たんぱくなどが糖尿病に関係する検査です。平成28年度の町の健診では、HbA1cの値から分かる血糖コントロール不良の人が、治療者で約56%、未治療者で約3%いました。

糖尿病を放っておくと、命に関わる病気につながる場合があります。高血糖に気付いたら、放置せずに受診しましょう。

血糖値と糖尿病

私たちが取った食事（糖質）は、腸で消化・吸収され、ブドウ糖となり、血液中に供給されます。この血液中のブドウ糖の量を血糖値といいますが、膵臓から分泌されるインスリンというホルモンが血糖値を一定に保つ働きをしますが、インスリンの量が不足したり、働きが悪くなったりと、慢性的に血液中のブドウ糖の量が多くなり、高血糖となり



糖尿病を放っておくとどうなる？

糖尿病の初期は、ほぼ自覚症状がなく、ほとんどの人が治療せずそのまま放置しがちです。そして、体に異変が起きたときにはすでに病状が深刻な状態にまで進行していることが多くあります。

☑チェックしてみましょう！

- 肥満である
- 満腹になるまで食べないと気が済まない
- アルコールをたくさん飲む
- 油や脂っこい料理が好き
- 野菜をあまり好んで食べない
- 運動不足である
- ストレスを感じることが多い

チェックが付いた項目は生活習慣の改善が必要です！



健康増進課 佐藤実菜 保健師

糖尿病の3大合併症 「し・め・じ」

◎**し 神経障害** 末梢血管にダメージを受けることで、神経障害が起こり、手足にしびれやマヒ、最悪の場合は壊疽（組織が死んでしまふ）などが起こる場合があります。

◎**め 網膜症** 「眼」の血管に障害が起こり、視力低下や白内障になり、進行すると失明の可能性があります。

◎**じ 腎症** 腎臓の血管に障害が起こり、老廃物をろ過する働きが低下し、悪化すると腎不全により人工透析が必要となる場合があります。

毎年健診を受けましょう

血糖値やHbA1cの値など、自分の現在の体の状態を知るためには年に1度の健診を受けることが大切です。来年度も必ず健診を受けましょう。





西中図書館 新刊オススメ本



『賢い子』は図鑑で育てる

瀧 靖之 [著] 講談社

刺激すればするほど、使えば使うほど発達するのが子どもの脳です。この脳を刺激するのに一番いいのが「図鑑」です。作者は東北大学

の脳医学者で、大学が所有する膨大なMRI画像データを解析し、「賢い脳」を育てるには、「図鑑」の活用が一番と考えています。決して図鑑は子どもだけに向けられたものではありません。本書をきっかけに、お子さんだけでなく、お父さんやお母さん、おじいちゃん、おばあちゃんまでもが、好奇心をもって、図書館で図鑑を開いてみてください。



『読書という荒野』

見城 徹 [著] 幻冬舎



『ことことこーこ』

阿川 佐和子 [著] 角川書店



『どんまい』

重松 清 [著] 講談社



『となりの脳世界』

村田 沙耶香 [著] 朝日新聞出版

町民ギャラリー わらべ・いと 糸

今月は、青津 栄子さん（縄沢）の作品です。

作品名 「正月飾りとくくり猿」

作品介绍

気の合う仲間と始めつつし飾り。月2回程度、おしゃべりしたり、互いに切磋琢磨しながら楽しい時間を過ごしています。ひと針ひと針、心を込めて縫い上げた作品は、出来はどうか、とてもいとしいものです。

この作品は、わが家に生まれた孫娘の健やかな成長を願い作ったもので、新年に飾りました。鯛や羽子板など、縁起の良いものをつつしめています。くくり猿には、苦（九）難が去る（猿）という意味があります。



昨年より順位を3つ上げる大健闘（総合38位）

第30回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会

白河市の白河カナルスポーツパークをスタートし、福島県庁までの95・0キロ、16区間を1本の襷でつなぐ第30回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会「ふくしま駅伝」が11月18日に開催されました。コースの変更に伴い昨年よりも走る距離が200メートル増え、総合タイムは若干落ちましたが、町チームは昨年よりも順位を3つ上げる大健闘を見せました。



中継所で仲間が運ぶタスキを待つ伊藤大河選手



スタート地点での記念撮影



アンカーの薄上南平選手



見事な走りで町チームをけん引した佐藤茂哉選手

選手・スタッフ一丸で来年の躍進誓う

第30回ふくしま駅伝は、町村混合チーム「希望ふくしま」を含め、県内59市町村から53チームが出場しました。これまで、町ふくしま駅伝実行委員会では、昨年に引き続き監督を務めることとなった佐藤正光さんを中心に、猛暑が続いた7月から週3回、さゆり公園で練習を重ねてきました。さらに、近隣市町村で行われるマラソン大会への出場や、本番前の試走も複数回行うなど、大会に向けての調整を図ってきました。

天候に恵まれた大会当日、最前列からのスタートとなった1区の須藤帆南選手は、強豪揃いの女子のエース区間を39位と昨年同様の好スタートを切り、続く2区の伊藤亜久里選手も区間35位の力走で3区へとつなぎました。そして、3区の伊藤大河選手は区間22位の好走で総合順位を8つ上げ、7区の横山翔大選手は区間24位、8区の鈴木俊哲選手は区間32位、9区の齋藤朱峰選手は区間38位、14区の三留拓真選手は区間31位と、それぞれの目標タイムを上回る走りを見せました。また、最長区間の10区では8年連続出場となる不動のエース、佐藤茂哉選手が区間18位と、総合順位を3つ上げる見事な走りで町チームをけん引しました。大会前日には、選手が緊張による体調不良を起こすなど心配な面もありましたが、当日は町から駆け付けた応援団などの声に奮起し、結果として、総合タイムは昨年よりも若干落ちたものの、順位を3つ上げる好成績を残すことができました。一人一人の力が十分に発揮でき、また、選手やスタッフが集まり、来年の躍進を誓う大会となりました。

戸籍の窓口

(11月受け付け分)

■ まちの人口

	12月1日現在	(前月比)
人口	6,356人	(-23人)
男	3,067人	(-13人)
女	3,289人	(-10人)
世帯	2,656世帯	(-10世帯)

■ お誕生おめでとう

八島 凛桜ちゃん 泰斗・真友 1町内

■ ご結婚おめでとう

小塚 智也 熊本県
渡部 美由紀 1町内

■ お悔やみ申し上げます

山本 久 (91)	祐宏 父	1町内
渡部 麗子 (85)	四次男 妻	9町内2
本田 ひさ子 (90)	正美 母	下小屋
鈴木 松子 (83)	義祐 叔母	松尾
鈴木 常子 (92)	常夫 母	松尾
岩渕 光子 (87)	光一 母	縄沢
小林 昭八 (85)	伊藤一 父	上野尻
武藤 達朗 (82)	佐藤清美 父	柴崎
佐藤 文夫 (59)	英夫 弟	杉山
岡野 ハナヨ (95)	欣一 母	下松
三瓶 ヨノ (109)	孝一 祖母	山浦
五十嵐 昭一 (84)	宏樹 父	中ノ沢
矢部 三男 (82)	孝之 父	中町
玉木 一郎 (87)	幸次 父	小綱木

Dream

聞いて！ わたしの夢



[2年・生徒会長]

佐藤 芽生さん

◆私の夢——

私は将来、美容師になりたいと考えています。美容師になりたいと思ったきっかけは、髪を切りに行ったときに見た美容師さんがたくさんの人の魅力を引き出し、お客さんを笑顔にしている姿がかっこいいと思ったからです。だから、私もお客さんを喜ばせることができる美容師になりたいです。

◆努力していること——

将来は自分でお店を経営したいので、まずは自主学習に取り組んだり、各教科の課題をしっかりと提出したりして、志望校に合格できるよう努力しています。

◆未来の自分に一言——

美容師になれていますか？ これからも夢に向かって諦めずに頑張ってください。

Person

町民バトンタッチ

目黒 かずと 和人さん [1町内]



◆趣味は？

酒

◆自分を一言で表現すると？

マイペースののんびり屋

◆あなたのモットーは？

損して得(徳)とれ

◆最近感動したことは？

ジブリ映画の「紅の豚」

◆特技は？

苗作り(野菜・花)

◆熱中していることは？

農協青年部の活動(子どもたちの田んぼの生き物調査、イモ植え、イモ掘り、酒飲み)

◆今後やってみたいことは？

海外旅行

◆次の方を紹介してください

D・Sさん(出ヶ原)

とっておきの物は？

学生時代に手作りした手帳カバーと農協青年部で育てたイモで作った芋焼酎。手帳は汚れや傷が付いて年々味が出てきました。芋焼酎は好評販売中です。ぜひ一度ご賞味あれ！



佐藤 雄二さん(12月号) から

また出ヶ原に遊びに来てな！ そんないいお酒とか絶対持ってこなくていいからな！



Column

協力隊リレーコラム

歳月人を待たず

このコーナー、まさか2周目があるとは…。地域おこし協力隊として着任して西会津町に来てから、もうすぐ満3年。その前は、6年間にも及ぶ学生生活を存分に謳歌していた。さらにその前は、なんと高校生だったなんて。自身のことながら、にわかには信じがたい事実である。たしか高校3年生のこの時期は、大学受験にあくせくしていたはず。ここだけの話だが、一度受験勉強に嫌気がさして友達と学校を抜け出し、とあるテーマパークへ遊びに行ったこともあったような…。その頃には、まさか自分が熱気球に没頭するということも、西会津町の地域おこし協力隊として働くということも想像してみなかった。皆さんは10年前、どう過ごしていましたか？ この先の人生も当然分からないが、分からないからこそ楽しい。10年後はアラフォーか…。

2019年も楽しい1年にしましょう。



江田 睦美隊員

栃木県佐野市出身、27歳。平成28年4月から歴史・文化財担当の町地域おこし協力隊員。熱気球のパイロットでもあり、学生時代には世界選手権にも出場。

地域に伝わる伝説や民話、文化財などを紹介

にしあいづ物語100選 その21

文：小瀧 達男^{たつお}さん

会津きっての「山の神様」物語

野沢の大久保に鎮座する大山祇神社は、県内外から崇敬を集め、特に6月の例大祭には多くの参拝者が訪れます。祭神は大山祇命とその娘でもある岩長姫命、木花咲耶姫命の親娘三柱をお祀りし、それぞれ山岳と水源、健康と長寿、良縁と安産の神として広く信仰を集めています。

由来によれば、宝亀9年(778年)に、真海法師という老僧が来訪したといわれます。この法師の夢枕に山の神様が現れ「吾こそは三島大明神(祭神：大山祇命)なり、この山に霊地あり、吾を山神として勧請すれば、火災、病苦諸厄を除き国中を安穩に擁護する。さらに「詣る者が、3年続けて真に念じれば一生に一度、一代限りの願い事を叶えよう」とお告げになられたと伝えられています。法師は目覚めると身を清め、山に登り2夜3日の祈祷を行い、祠を築かんとしたところ、忽然と幣束が現れたといわれます。このことを村人に語ったところ皆感激し、翌年に石籠の建立をはかり、9月9日に竣工成就し遷宮式を行ったと伝えられています。

この由来により、「3年続けてお詣りすれば、なじよな(どんな)願いもききなさる山の神様」として信仰を集めています。山全体が神域とされ、遥拝殿(下宮)が建つ大久保集落から1時間ほど中野川沿いのアップダウンする坂道や、幽玄な空気の漂う杉並木と202段の石段を登った所に御本社が建っています。さらにそこから険しい山道を40分ほど登った岩場に奥の院があります(奥の院に行くには案内人が必要です)。

参考文献 西会津町史第7巻 宗教文化資料 大山祇神社起源



↑茅葺き時代の御本社



↑現在の奥の院



今月の表紙

今月の表紙は、民芸品工房「野沢民芸品製作企業組合」が製作している千支張り子です。一番手前の張り子は「首振り黄金亥」。職人の皆さんが受け継いだ製法で心を込め、ひとつひとつ手作業で作っています。

編集後記

あけましておめでとうございます。新年が皆さんにとって良い年になりますよう、心よりお祈りいたします。

さて、とうとう雪が積もり始め、本格的に寒くなってきました。皆さま、いかがお過ごしでしょうか。寒さに弱いわが家では、コタツとストーブを10月の初めにすでに出動させてしまっているのですが、これ以上寒くなってしまうと、もうどうしようもありません。今年もあれやこれやと防寒対策を考え中です。暖冬という噂はどこへやら…。

モモヒキが手放せない、長谷川祐一